



保護者の皆さまへ

クローバー学園

2025年度の取り組み



クローバー学園 基本方針



1 子どもの権利

子どもを権利の主体者としてとらえ、その最善の利益を追求し、家庭の代替機能として安心、安全な場を提供するように努める。



2 関係性をつくる

子どもたちのくらしのあらゆる場面で子どもとの関係性を育むためのツールとして愛着の再形成、関係性修復のための支援をおこなう。



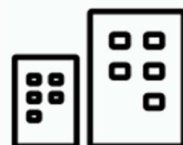
3 自立・学習

将来、自立した個人として等しく健やかに成長することができるよう、子どもの発達段階に応じて、切れ目のない学習機会を提供する。



4 地域支援

他の関係機関と連携し、子どもに関する地域支援の拠点として地域に必要とされる施設を目指す。



クローバー学園では、「愛育」の精神を大切にし、職員一人ひとりが「当園のあるべき姿」をめざし、日々の実践に努めてまいります🍀



2025年度重点目標

①子どもの権利を第一に

子どもからの意見が出しやすいよう、子どもが自然なありのままにいられる環境をつくっていく。

②食を通じた関係性づくり

愛着関係や関係性を育むための最も大切なツールである食を通じて、子どもと一緒にさまざまな経験を得られるように支援していく。

③学習支援の充実

学習環境を整え、基礎的な学力の向上を目指すとともに、子どもが自主的に意欲をもって学習に取り組めるよう、学力保障に向けた支援を進める。

もっとくわしく  お伝えします！



①子どもの権利を第一に

子どもが自分の考えや意見を言えるような場をつくり、これまでよりも、子どもの声聴く機会を積極的につくるようにし、普段の生活にも取り入れるようにしたりしていきます。また、自立支援計画をつくる際に、子どもの気持ちや考えも尊重しながら進めています。外部からアドボケートの方に第三者の立場から、子どもの気持ちを聴いてもらう機会をつくっていきます。

②食を通じた関係性づくり

子どもたちを支援していくために、まずは子どもと職員が良好な関係を結んでいく必要があります。キッチンで子ども一緒にご飯やおやつ作りをしたり、子どもの要望に応じて担当職員が献立をアレンジしたりしています。キッチンの中で一緒に調理をしながら、子どもたちが今感じていたり困っていることを気軽に話ができるような雰囲気を作っていくことで、食を通じて子どもと関係性を作っていくことを一番に大事にしていきたいと考えています。

③学習支援の充実

学力をつけていくことで、将来の進路や職業の選択肢の幅を広げていくことができます。当園では、子どもたちが自分から勉強に取り組めるように、普段の生活の中で職員が勉強のサポートしたり、子どもの希望に合わせて、大学生の学習ボランティアさんに勉強を見てもらったり、中学生は塾に通うことができるような仕組みを用意しています。また、小学生には、自分で選んだワークやドリルを使って、勉強する習慣をつけられるように支援をしたいと考えています。



2025年度重点目標

④性教育の充実

各年齢に応じた性教育を行い、子どもが生活の中で性(生)を特別視せずに学んでいける環境を整えていくとともに、職員も性(生)の支援を身近なものとして捉えられるよう学びを深めていく。

⑤職員の人材育成

「当園のあるべき姿」を優先度の高い内容から改訂を進め、その指針の実現に向けて人材育成、キャリアパスを体系化させる。

⑥地域の子育て支援

親子支援事業を開始し、より地域の子育て支援に協力できるように、峡東3市や子育て支援機関・団体との連携を深める。

もっとくわしく  お伝えします!



④性教育の充実

当園では、いろいろな年齢の子どもたちが集団で生活しているため、子ども同士のかかわりの中で自分の年齢以上の性的な話題に触れてしまう場合があります。そこで令和5年度から、性(生)教育委員会を中心に、子どもに自分の体を大切にし身を守る術を身につけたり、年齢に合った性の知識を身につけることができるように、大学の先生とも協力してもらいながら、性(生)を特別視しない性(生)教育を始めていきます。

⑤職員の人材育成

子どもの支援をしっかりとできるような職員のあるべき姿を目指し、園内や外部での研修機会を増やすだけでなく、クローバー学園が目指す養育の形『当園のあるべき姿』を優先度の高いものから改訂していきます。また、職員が安心して長く勤めてもらうことができるように、自分のキャリアを考えられるような仕組みも整えていきたいと考えています。

⑥地域の子育て支援

地域のご家庭への支援として、ショートステイ(子どもを短時間や1日お預かりすること)事業を市町村と協力して取り組み始めています。また、地域の子育て支援事業として、地域のご家庭の子育てについてのさまざまな悩み相談を受けたり、ペアレント・トレーニングとして一緒に子育てを考えたり、子育てに関する講演会を実施する予定です。

子どもと職員の人 数(2025 年 6 月)



つくしグループ



幼児
1 名



小学生
4 名

さくらグループ



小学生
2 名



中学生
1 名



高校生
2 名

ひのきグループ



小学生
2 名



中学生
2 名



高校生
2 名

分園 かえで



小学生
5 名

分園 ひまわり



高校生
6 名

職員は、各グループに
5 名配置されています



園長、児童指導員、保育士、心理士、栄養士、自立支援専門相談員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員等、各種の専門職も含めて、35 名で子どもたちの生活と自立を支えています。

2025 年度イベント・行事(予定)



4 月

新グループ・新任職員発表
地域の河川清掃



10 月

介山大菩薩会との稲収穫
ハロウィンパーティ



5 月

ゴールデンウィークのお出かけ

11 月

総合防災訓練

6 月

介山大菩薩会との田植え

12 月

劇団四季ミュージカル観劇
クリスマス会



7 月

七夕かざり
甲州市調理師組合の慰問

1 月

書初め

8 月

夏休みのお出かけ
退園生とのお盆交流会

2 月

節分・豆まき

9 月

お別れ球技会
退園式・離任式

